



定期総会の終了とセミナー開催について

<http://www.housou-senshikai.jp/>

日本包装専士会 Institute of Certified Packaging Professionals, Japan

ごあいさつ

平素は日本包装専士会へ格別のご支援とご高配を賜り誠にありがとうございます。去る5月28日に第36回定期総会を開催しました。今総会では2024年度活動実績、2025年度活動計画と役員選出の3議案を審議し賛成多数で承認されました。

2024年度はTOKYO PACK 2024開催の年でした。TOKYO PACK 2018から続ける「包装の未来に関する」考察の成果を公表し、開催期間中には包装関連4団体とともに包装実務者に向けたテクニカルセミナーを実施しました。

2025年度前半は技術士包装物流会との初めての共催となる包装技術セミナーの準備を進めます。年度後半は包装関連4団体合同出展の内容検討、「包装の未来に関する」方針決定、「包装の歴史年表」の改訂など、TOKYO PACK 2026出展に向けた準備が始まります。

マイナス金利が解除され世の中は金利のある世界に戻り、また賃金の増加を上回る物価の高騰により、個々の人を取り巻く状況が変わりました。いかなる状況においても包装業界の発展に資する活動を継続することが、きわめて重要と考えます。包装専士をはじめ包装業界の関係者からのご支援をお願い申し上げます。

日本包装専士会 会長 嶋 雅文

2025年度 包装技術セミナーのご案内

演題 包装廃棄物処理・リサイクルにおけるDXとカーボンニュートラルの推進

講師 藤井 実 博士（工学）

国立研究開発法人 国立環境研究所

社会システム領域・システムイノベーション研究室 室長

共催 技術士包装物流会・日本包装専士会

後援 日本包装管理士会・日本包装コンサルタント協会

趣旨 リサイクルビジネスが業界として持続可能な成長を遂げていくためにはデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）の推進により、脱炭素社会・循環経済に資する価値提供を行う必要があります。さらに近年第五次循環型社会形成推進基本計画でも言及されたネイチャーポジティブ（自然再興）への寄与も求められる中、DXによる包括的な対策がますます重要になります。これらのDXの推進の必要性は容器包装やその廃棄物のリサイクルも例外ではありません。このたび国立研究開発法人 国立環境研究所・社会システム領域・システムイノベーション研究室内の藤井実室長を招へいし廃棄物処理・リサイクルにおけるDXとカーボンニュートラル推進についてご講演いただきます。

日時 2025年7月7日 曜日 14:30受付開始 15:00講演開始

場所 きゅりあん6階 大会議室（東京都品川区東大井5-18-1）

交通 JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線 大井町駅東口

詳細 右のQRコードをご参照ください

受講料 現地参加 3,000円（懇親会含む）、リアルタイム配信 1,000円

お問合せ 担当 成田 Junichi.Narita@rmtohcello.com

